Australia

西シドニー大学国際交流プログラム

達成目標
- ◉多国籍の学生との協働学習や交流、現地の人との交流を深める！
- ◉英語・キャリア・異文化・デジタルの知識とスキルを身につける！

実施期間：8月～ 9月：オンライン研修２週間＋現地研修２週間（予定）※
滞在：ホームステイ（現地研修）

※時期・期間は2023年12月現在の予定で、変更となる可能性があります。

研修内容

オーストラリアの西シドニー大学付属語学学校The Collegeが提供する、これからの社会に必要とされている英語・キャリア・異文化・デジタルを学習するプログラムです。本プログラムでは、オンラインによる約2週間の研修と、現地での約2週間の研修を効果的かつ自由に組み合わせ、英語研修に加えて様々な国籍の留学生や現地学生との協働学習に取り組みます。

また、西シドニー大学ならではのバーチャルエクスチェンジツールを利用して、国境を越えてリアルタイムで現地学生や他国の学生とのオンライン交流イベントに参加することができます。その上で、SDGsデータベースやデジタル図書館、e-learningシステムなどの自律学習ツールを駆使することにより、英語能力、キャリア意識、異文化対応力、デジタルリテラシーをさらに向上させることができます。

現地滞在期間中はオーストラリアの家庭にホームステイとなるため、現地の文化を体験しながら、生のAussie Englishに触れることができます。また、現地でのインターンシップへの参加、あるいは西シドニー大学にしかないSDGsプロジェクトやYoung Leadersプロジェクトへの取り組みを予定しています。多様な価値観や文化に触れることで国際的視野を広げ、グローバル人材としての社会人基礎力やコンピテンシーが鍛えられます。

研修先について

西シドニー大学付属語学学校
(The College, WSU)

西シドニー大学はシドニー北西部にメインキャンパスを持ち、北西部とシティに合計11のキャンパスを展開する大規模な総合公立大学です。1989年設立の新しい大学ですが、設立50年未満の世界36位にランクするオーストラリアでも急成長を続ける大学の一つで、グローバルに評価される教育システムと大学全体のデジタル化が進んでいることで知られています。留学生の割合は16%、国際色豊かな学習環境で勉強することができます。

SDGsの授業風景

担当教員から一言

（蒙韞准教授）

このプログラムはコロナの真っ最中で立ち上げられ、「少しでも国際交流や国際教育に明かりを灯し、より多くの学生を笑顔で効果的に学ばせる」よう、本学が西シドニー大学付属語学学校The Collegeと心を込めて企画・運営・実行しました。

これまでのオンライン・現地研修は、参加学生に好評だっただけでなく、「誰が、何を、なぜ、またどのような状況で学習したのか」を測り、異文化間能力を含む自己（Self）全体を測定することが可能である客観的測定テストBEVI（Beliefs, Events, and Values Inventory）の結果から、参加学生の①英語学習意欲、②グローバル・コンピテンシー、③社会人基礎力と④デジタルリテラシーを高めるために、優れた教育効果が確実に見られました。そのため、もし「オンライン研修には本当に効果があるのか」という疑問を持ったり、「今、やるかやらないか」を迷ったりするなら、ぜひ応募してください！そうすると、きっと早いうちに、今までと違う自分に出会えると思います。

オンライン研修の様子

参加学生の声

※2023年度のプログラムに参加した学生の感想です。

◎オーストラリアという土地柄、様々な人種や宗教背景を持つ人が暮らす様子は日本ではなかなか見ることができないもので、自分の認識の世界を広げることができた。

◎ベトナムの友人ができ、メールでの意思疎通は難なくできたが実際に話すと伝わらないことや聞き取りにくいことが多かったため、もっと英語を勉強したくなった。

◎特にスピーキング力とリスニング力が大幅に向上したと思う。ホストファミリーとの会話を通じて、英会話に慣れることができた。

◎長期留学を具体的に考えられるようになった。

◎オンラインでも先生方とちゃんとコミュニケーションが取れることが分かりとても充実した時間を過ごすことができた。オンラインだからこそ円滑に授業が進み、緊張していたが必死になれた。

Pick Up! 第２タームに参加可能なプログラム

新潟大学では平成29年度から全学生を対象に「クォーター制」（ひとつの年度を二分した第1学期・第2学期をさらに半分に分けた「クォーター」ごとに授業を行う制度）を導入しています。計画的な履修により空白のタームを確保することで、在学したままターム中に留学することも可能です。

以下のショートプログラムは、第2タームに参加可能なプログラムです。実施時期の前年度の1月～3月に募集を行いますので、他の授業に支障がないことを指導教員、授業担当教員、及び所属の学務係に十分に確認の上、申し込んでください。

オーストラリア多文化共生社会体験プログラム
6月中旬～7月下旬（約５週間）

春季実施のショートプログラムの第２ターム版です。クイーンズランド工科大学（QUT）インターナショナル・カレッジにて、５週間のGeneral English Courseを受講します。現地家庭にホームステイしながら、オーストラリア文化について学び、多文化共生社会について理解を深めます。

▶ https://www.qut.edu.au/study/qut-college

仁荷大学サマースクール
7月下旬～8月上旬（約３週間）

大学間交流協定校である仁荷（イナ）大学にて、例年実施されているインターナショナル・サマースクールに参加するものです。韓国語のみならず、“Korea and East Asian International Relations”や“Introduction to K-pop Drama & Its Multicultural Aspects”などの科目を英語で学ぶため、韓国語を全く勉強したことがない方でも参加でき、「英語も韓国語も」学ぶことができるチャンスです。

▶ https://summer.inha.ac.kr/summer/index.do

参加学生の声

経済科学部　総合経済学科　**高野 浩** さん
2023年6月～7月 オーストラリア多文化共生社会体験プログラム

私は、海外の生活・文化に興味があり大学在学中に留学したいと考えていたこと、また、海外での生活は刺激的で、楽しそうで、そこでしか経験できないことが多くあると思い、このプログラムに参加しました。現地では、ホストファザーにお世話になりました。アラビア系にルーツがある方で、たくさんおいしい晩ご飯を作ってくれました。留学先のクラスは、自分より年下の人から、30代で家庭をもつ方など、約8カ国の生徒がいました。タイ人や台湾人、サウジアラビア人の友人と、それぞれの国の話をしたことや、放課後や休日に一緒に出かけたことが思い出に残っています。ホストファザーや学校のクラスメイトと、学校生活の話、趣味、将来の話、恋愛の話、オーストラリアのおすすめの場所など、たくさん話をしました。文化や習慣、価値観が違う中で、これは世界共通の感覚、感情なのだという発見や、日本とは全く違う捉え方をするのだと驚くようなことなど、留学をしなければ分からないことがたくさんありました。また、知らない土地で、一人で様々なことに挑戦したことで、以前より度胸や胆力、自信がついたと思います。伝えたいことが英語で上手く話せないもどかしさを感じながらも、大学生活で一番充実した時間になりました。渡航前の不安や期待以上に、刺激的で楽しい5週間が待っています。少しでも興味のある方はぜひ!!

第２タームに参加可能なプログラムに関する情報は「新潟大学 国際交流・留学」でお知らせしています。
⇦ ▶ https://www.niigata-u.ac.jp/international/study-abroad/short-term/